東京芸術座 公演

おんやりょう

躓きながらも
理想に向かって挑もうとする
人びとの物語

ONYARYO

Written & Directed by Yuko Naito





作・演出 | 内藤裕子

東京芸術座 公演

作・演出｜内藤裕子

おんやりょう

とある地方の消防署の朝。
兼業農家を営む隊員同士の農業談義から始まる。その間にも緊急出動要請が下りてくる。
中には緊急性のない「119 番常連」もいるが、出動要請があれば駆けつけざるを得ない。
不満をもらしつつ事務をこなす者、訓練に励む者、訓練をさぼろうとする者……。
24 時間勤務の中で、現場にかけつける消防隊員の中でも
救命を第一義とする救命士と一般消防士の間の軋轢がおこる。
佐伯智子は同僚との結婚を考えているが、
救命士になる夢はあきらめきれず悩みを抱えている。
人助けが日常である隊員たちもそれぞれ
人間としての生活や感情を持つ人間なのだ。
仕事に情熱を燃やし、
躓きながらも理想に向かって懸命に働く
消防署の人々の
ある一日のおはなし。


梁瀬龍洋


神谷信弘


脇 秀平


さとうゆい


森 路敏


中新井美穂


松並俊祐


小川拓郎


中屋力樹


吹田真実


笹岡洋介





STAFF　美術｜幡野　寛　照明｜佐々木真喜子〈(株)ファクター〉　音響効果｜穴沢　淳　舞台監督｜たかのきよこ
演出助手｜梅田雪那　照明 OP｜関定己　音響 OP｜馬上真勝　制作｜嶋田みどり　協力｜green flowers・東京消防庁石神井消防署





「おんやりょう」とは江戸木遣り唄の「さあ、いくぞ」という意味だという。
いざという時、わだかまりを捨て、ひとつの目標に向かって「さあ、いくぞ」と力を発揮出来る組織はどうあるべきなのか。
組織を作っているのは人間であるという当たり前のことを思い出させてくれる舞台だった。　【劇評】の一部より

旭川市民劇場12月例会 第354回/2026年

12月4日(金) 午後6:30
5日(土) 午後1:30
上演時間 1時間45分（休憩なし）

旭川市公会堂 旭川市常磐公園内

入会のご案内		
入会金	2,000円	会員になると、年6回の演劇を鑑賞できます。詳しくは、旭川市民劇場まで。
会費(月)	一　般 2,800円	
	大学生 1,000円	
	小中高　500円	

次例会のご案内
2027年2月例会
俳優座
『猫、獅子になる』
2月19日(金)18:30 | 旭川市公会堂
20日(土)13:30

旭川市民劇場 旭川市3条通8丁目 緑橋ビル1号館2F ☎0166-23-1655